

くまぐみより

1月から冬場恒例の体力づくりが始まりました。マラソンをするときのくま組の目標は「自分のペースで最後まで止まらずに走る」ことです。一生懸命走り切った達成感を味わってほしくてこの目標について子どもたちに話をしてみました。すると、やってみる！とやる気満々のみんな。準備体操の時に「寒い～」と言っていた子も走り終えると汗を拭いながら「止まらず走れた～」と息を切らしていたり、「ほっぺたが赤くなってるね～」と子ども同士で頑張ったことを認めあったりしていました。そしてマラソン後にはお決まりの「鬼ごっこしたーい！」の声！鬼ごっこが始まるとマラソン直後だということを感じさせない走りをする子どもたち。どのように捕まえるか、またどのように逃げ切るか、時には頭を使いながら、身体を動かす楽しさを存分に味わっています♪

また、今月は様々な正月遊びをしました。その中でも白熱しているのがかるた遊びです。秋頃からひらがなに興味を示していたみんな。「自分の名前を書いてみたい」から始まり、「これは何て書いてるの？」「〇〇はどうやって書くの？」に変わり、読めるひらがなが増えてきました。かるた遊びをする時、最初は保育士が読み手をしていましたが、次第に「読んでみたい！」という子が出て来て、今では子どもたちだけでかるた遊びを楽しんでいます。「今日は〇枚取れた！」「〇〇くんには負けた～」といったような感情を味わったり、「一緒にチームでしょ！」と自分たちでルールを作ったりしながら楽しんでいます。ひらがなが読めるようになり、かるた遊びを通して文字の面白さを知って、ますます文字を読みたい、書きたいのくま組です。これからも文字を使った遊びを取り入れて楽しみたいと思います！



2月の保育目標

冬ならではの事象に気づき、遊びに取り入れる。

いすぐみより

イスやおもちゃ箱で囲いを作って始まったおうちごっこ。「もっと大きいおうちにしたいねえ」という子どもたちと相談して仕切りを段ボールにしてみることに…。すぐに子どもたちの会議が始まり「これはこっちにおこうや」「やったら、こっちから入れるようにしてみん？」「入るときはこのドアをピンポンしてくださーい！」とおうちができあがってきました。すぐ隣では「私はおかあさんね」「じゃあ、病院の人になる！」と役を決め、「ちょっとうちの子がカゼを引いたみたいなの」とぬいぐるみを抱っこしたお母さんが言えば「それは大変！お熱をはかりましょう」「お注射したらすぐよくなりますからね」と本当に病院で聞こえてきそうな会話が弾んでいます♪またある日のおうちを覗いてみると、何やら同じ形のレゴブロックを持った男の子たち。机を囲んで、「よーし、やるぞ！」とゲーム大会が始まりました。子どもたちの自由な発想で、日々間取りが変わっていきます。

おうちごっこの様子を見ていると、自分の考えを伝えようとしているのが分かります。言葉につまってしまうても「こうしたいん？」と代わりに聞いてくれる友だちがいて、コミュニケーションを取りながら遊んでいます。これからも友だちと一緒に遊ぶ中で、自分の思いが伝わる嬉しさを味わったり、相手の思いに寄り添ったりしながら色々なことを楽しんでいきたいと思います。

2月の保育目標

- 遊びの中で、自分の思いを伝えながら表現する楽しさを味わう。



うさぎぐみより

〇2月の保育目標

・身の回りのことを自分でしようとする。

朝の支度を終わると「マラソン行くよ～！」と、自分で帽子をかぶって上着を着て、靴を履いて…あっという間に準備万端の子どもたち！保育室前の掲示でも様子をお知らせしています通り、身の回りのことをなるべく自分でできるように頑張っています。日々『自分で！』と、チャレンジする中で、「むずかしい…」「できん～」という声が「自分でできた！」と伝えに来てくれる笑顔に少しずつ変わっていき、私たちもとてもうれしく思っています♪一人ひとりの様子を丁寧に見守りながら、どんどん自信や意欲につながっていくようにお手伝いしていきたいと思います。是非ご家庭でもいろいろなことにチャレンジし、お子さんたちの「自分でできた！」をたくさんほめてあげてくださいね(*^*)

年明け、簡単なお正月あそびを楽しんでいた中で、みんなのお気に入りとなったのがかるた遊びです♪『聞いて』『見て』…集中して楽しんでいます！初めのうちは保育士が読み手になっていたのですが、次第に「自分で読みたい！」と読み手側を楽しむ子も出てきました。もちろんまだ文字は読めませんが、カードの写真を見て、「はい、次いくよ～！」と、さながら保育士のように、お題を出してくれます（笑）子どもたちだけで遊びが盛り上がっている様子は、なんともほほえましいです♡

今年度も残りわずか…コロナ禍で制限されることもありますが、子どもたちにとって充実感のある毎日となるよう、活動の工夫をしながら過ごしていきたいと思います。



「これだ～！」「ピンポン！」



「次はどれにしようかな～？」
おともだちの声をよく聞いて…

ひよこぐみより

最近ますますおしゃべりが上手になってきたひよこぐみさん。朝のお集まりでは、お返事だけでなく手作りマイクを向け「おなまえは？」と聞いてみると、自分の名前が言えるようになりました。お友だちの名前まで答えられちゃう子までいます(*^*)目、耳、鼻、口など他にも体の部位や物の名前にも興味津々で、製作遊びの「だるまさん」や鬼のお面作りでは「めめー！」「おはな～！」など指をさして知らせてくれます。いろんなことを吸収して言葉ややりとりが増え、一生懸命伝えようとしてくれている姿は可愛くてたまりません（´▽`*）「あのねー〇〇がねーあのねー▲▲でね・・・」と息継ぎを忘れそうなほどおしゃべりに夢中になる1歳児の子（笑）（^）まだうまく言葉にならない0歳児の子たちも「あー」「うーあー」など気持ちを伝えてくれます！泣いている子がいると、自分が泣いている時にしてもらったことと同じようにお人形さんを手渡してあげたり、頭をなでなでしてあげたり・・・、とっても優しいんですよ。

毎日、外は寒いですが「お外で遊ぶよ～」の一声で「やったー！」「わーい、おそとー（^♪）」と上着や帽子、靴下の準備を次々に始めるほどお外が大好きなひよこぐみの子どもたち。体を動かして元気いっぱい遊んでいます。引き続き、これからも体を動かす心地良さをたくさん味わっていききたいと思います。

＜2月の保育目標＞

- 遊びの中で言葉や仕草でのやりとりを楽しむ。

